あなんちょう

議会だより

第99号
令和6年10月15日

富草保育園 運動会（令和６年９月21日）

主な内容

◆第５回議会定例会報告・視察報告　・・2
◆各常任委員会　・・・・・・・・・・2～5
◆議会から町へ要望　・・・・・・・・・・5
◆町長あいさつから、南部地区議員会定期総会
北相木村、海津市 行政視察　・・・・・・6
◆勉強会報告・議会の動き　・・・・・・・7
◆一般質問　・・・・・・・・・・・・8～12
◆議員定数・報酬について審議会を要請
各種団体との懇談会開催のお知らせ
編集後記　・・・・・・・・・・・・・・12

第5回議会定例会（9月）報告

第5回定例会は、9月6日㈮開会。12日㈭に社会文教・総務産建常任委員会、13日㈮に予算決算常任委員会が開かれ、20日㈮に再開し、以下原案の通り可決された。

- **工事請負契約の締結**　令和6年度地方創生道整備推進事業 道路改良工事 町道大下条8号線 川田
- 令和6年度都市再生計画事業 敷地造成工事 コミュニティの森地区

以上2件開会日可決

- **条例一部改正**　4件
- **令和6年度補正予算**　2件
- **財産の取得について**

富草粟野地籍 町の残土処理場用地約3，200㎡を取得

- **国による補充的な指示の慎重な運用を求める意見書の提出について**
- **陳情関連意見書**　2件

以上10件可決

- **令和5年度各会計決算**

6件認定

- **陳情**

2件採択

総務産業建設常任委員会

9月12日㈭午後1時30分から協議会室に於いて開催。付託案件2件について審議した。

主な審議内容

消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について

審議結果

原案可決すべきもの

◎議員発議

国による補充的な指示の慎重な運用を求める意見書の提出について

審議結果

原案可決すべきもの

社会文教常任委員会

9月12日㈭午前9時から協議会室に於いて開催。付託案件5件について審議した。

主な審議内容

- **国民健康保険条例の一部を改正する条例について**
- **福祉医療給付金条例の一部を改正する条例について**
- **長野県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する条例について**

以上3件、審議結果

原案可決すべきもの

- **陳情**
- **訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を求める陳情**
- **政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充し、すべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情書**

以上2件審議結果

採択すべきもの

飯田建設事務所・議会・町職員 視察懇談会

和合木曽畑 県道深沢阿南線崩落現場

11月下旬時間通行可の予定

9月27日、和合地区木曽畑で5月発生の県道深沢阿南線崩落現場を視察し、建設事務所担当者から工事内容等の説明を受け、進捗状況を確認。

その後町役場2階にて、阿南町内における国・県道、地すべり等に関する要望と意見交換を行った。

予算決算常任委員会

9月13日㈮午前9時から協議会室で開催。付託案件8件について審議した。

令和6年度一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出2億2，354万5千円追加補正
（総額47億3，408万2千円）

第9弾ひとり2万円の商品券発行補正

新野学校遊具整備

歳入歳出主なもの

下記別表参照。

主な審議内容

Q 空き家対策方針は!?

A 国特措法制定。町条例等整備、対応検討していく。

Q 第9弾2万円分の商品券配布。内容は？

A 11月1日現在住民の方千円20枚綴1冊2万円分、町内事業所で12月1日～令和7年3月末日まで利用可能商品券配布。

Q 新野学校遊具設置要望が中学生からあった。弱者の声も取り入れたか。

A 予算内で希望取入れたいが、学校側と協議し実施

Q コミュニティの森等今後、弱者使用可能なユニバーサルデザイン採用検討を。

Q 雪まつり松明支柱修繕、地元施工補助か。

A 鉄製柱150万円位。町9割補助。地元1割負担。

令和6年度簡易水道事業会計補正予算（第1号）

歳入歳出228万1千円追加補正
（総額2億8，731万円）

主な審議内容

Q 各出張所検針業務対応の違い!? 水道検針業務が主なもの

A 富草地区内検針委託をシルバーに依頼。

Q 新野出張所は職員検針。

A 富草出張所4月から職員1名、事務補助をシルバー委託。今回事務とは別で委託する。

Q 富草職員体制検討を。

以上2件の審議結果

原案可決すべきもの

令和６年度　一般会計補正予算（第２号）主なもの（別表）

歳入　　単位：千円

地方交付税（普通 54,800、特別 56,940）	111,740
前年度繰越金	70,213
寄付金（宮島昭夫氏）	22,000
町債（過疎債ほか）	9,000
繰入金（市民農園基金）	7,000
国庫支出金（物価高騰減税ほか）	2,961

歳出

物価高騰対策第９弾商品券事業	82,214
建設関係区要望事業（吹付、舗装、小規模ほか）	46,000
宮島昭夫基金積立金	22,000
物価高騰臨時交付金（定額減税調整、新低所得者）	17,864
新野学校遊具設置工事	8,000
クラインガルテン新野高原エアコン設置	7,000
空き家利用促進事業補助金（解体、リフォーム）	6,500
高齢者コロナ予防接種委託料	6,292
ゆぅゆ～らんど阿南施設修繕工事（かじか荘ドアほか）	2,659
文化財修繕補助事業（雪まつり松明支柱修繕）	1,377
信州被災者生活再建支援事業（R5 災害住居解体関連）	1,000

決算認定審査

令和5年度一般会計及び特別会計等決算説明を受け各課ごと審査した。

総務課関係

一般会計

Q 基金運用益どの位？

A 昨年度利子310万円程。年度途中、基金6億円を野村証券へ長期積立実施。

Q ケーブルテレビ利用料未収金毎月500円口座振替とする選択肢も検討を。

A 半年毎、口座振替原則。毎月振替手間もあるが検討。

Q 町広報誌カラー化は。

A 100万円程追加料金発生。編集委員会で研究する。

民生課関係

一般会計

Q 南部医療連携法人は年度内どこまで進むか。

A 阿南病院は独立行政法人で法人参加なく、診療所の連携賛同。県知事認可に向け飯伊他方面で承認。年度内法人立ち上げを目指す。

Q 健康推進員の今後は？

A 全体人数は今後も確保。県大会行事等不参加等で業務負担減を工夫。

Q 緊急宿泊支援事業は？

A 4月以降、緊急宿泊支援事業対象事業所なく、太陽の家、赤石寮協力のもと、ショートステイ対応。

Q 民生委員業務内容は!?

受け手不足選任が大変。業務再確認必要。

A コロナ禍、民生委員家庭訪問控えて来た。訪問等は強制せず、住民の様子を包括支援センターに繋げてもらい職員が訪問。

Q ふっとふっと分析を行い効果検証しているか。

A 体調、体重管理依頼。分析依頼していない。分析は町保健師等が良い。

Q 健康づくりから介護予防要素強くなっている。町保健師が関わり分析を。

国民健康保険特別会計

Q 県一本化後の基金は？

A 納付金影響なければ、地域毎で基金運用。

跡地利用待たれる「高齢者生活支援ハウス」

Q 年金特徴前通知時、「口座振替依頼書」同封の検討を。

A 年金特徴までは納付書払いの通知のみ。今後検討。

後期高齢者医療特別会計

Q 年金特徴前滞納対策を。

収入未済は、75歳時年金特徴前の納付書払い多い。健料同様年金特徴（45歳）前対策を。

Q 福祉施設統合は!?

高齢者減、サービス事業所減。町内特養と社会福祉協議会統合の必要性は。

A 将来わからないが、要介護認定者数前年度末比30人弱減。福祉事業所連携も選択肢。

介護保険特別会計

Q 介護保険料滞納整理収入未済111万円程。現年24万程。後期高齢者保

住民税務課関係

現年課税分徴収強化の成果

町税徴収率は、税種によるが滞納繰越分20%～40%代。現年分99%～100%と滞納整理目標定めた結果。

Q 法人税減は町内企業への受注減少が原因か。

A 売上落込み、予定納税から還付企業あり。

Q 書かない窓口、評判は。

A 転入出時良いが、住民票等交付等の手間時間に変化ない分不満も。コンビニ収納キャッシュレス好評。

振興課関係

Q クラインガルテン稼働率好調で今回エアコン設置。

A 既に設置済あり19棟分設置。作年度20棟満室。現在4件待機者あり。

Q 商品券全町民利用回収率100%対策は。

A 施設入所者利用課題。家族、遠方で不使用状況。施設と協議も。

令和５年度 第８弾 商品券

Q キャンプ場運営管理は利用者から大規模キャンプ場希望意見が多いと聞く。大規模キャンプ場計画は。

A コロナ禍キャンプブーム、令和3年、特に池の島は2年度比1・72倍増。4

年度1・14倍、3年比昨年度が△0・9倍1割減。意見等いただき、今後考えたい。

Q二瀬キャンプ場への県道路肩の草管理。車載ナビ、帯川側入口を示す。そちら側は県道舗装等整備要望。他町村は民間経営キャンプ場増。調査研究を。

Q耕地災害効果!?「工事により耕作継続が図られた」一部評価に疑問。耕地復旧後も草等荒廃状況。

A耕作可能状態は、耕地災害復旧工事可能。

Q食彩館トイレへの屋根繰越事業工事の現状は。

A屋根だけでなく、イベント等スペース希望あり。イベント等計画提出待ち。

Q新野のコンビニ生鮮食料品販売は地区内に生鮮食料店舗なくなり、ローソン販売する計画は。

Aわからない。店の事情。

Qかじかの湯早期キャッシュレス化指導を!!対応機器整備したが未対応。温泉、食堂等全施設対応も。

A直売所と陶芸体験館は機器整備済。指導していく。

建設環境課関係

一般会計

Q住宅料金滞納額改善努力されているが現状は。

A新たに滞納者作らない目標。少額時回収と目標をたて、住宅担当等とも進めてきた。今後も続ける。

簡易水道会計

公営企業会計へ切替後初めての決算。

簡易水道、下水会計は、R5から公営企業会計に移行後初決算。会計支援税理士事務所の説明後、審査した。

Q漏水減で経費削減を求める。最新の衛星使用機器等の漏水調査必要では。

A漏水調査続けているがイタチごっこ。量水器ない地区公民館等に量水器設置進めている。調査費用補助なく水道料に影響。県等低料金調査話あれば有難いが。

Q水道（下水道も）使用料滞納整理。改善してはいるが、まだまだ多い状態。

A固定滞納者。水はメーター元で水量絞る対策をとり通知にて交渉続けている。

下水道特別会計

Q当年度利益8，608万円程、今後はどうか。

A大きな修繕の必要性あるが、健全運営に努める。

土日開館の化石館（粟野）

教育委員会関係

Q化石館受付シルバーの方だったが現在は。

A化石展示館開館のため土日営業で、シルバー委託。

各会計審査結果

一般会計他特別会計等5件の令和5年度歳入歳出決算認定審査結果

認定すべきもの

また、**「決算認定にあたっての要望書」**を議長を介し町長に提出した。

議会から町へ要望

令和5年度決算認定にあたって

本年度の予算執行並びに令和7年度予算編成において、予算決算常任委員会における個別審議ならびに全体審議内容等を積極的に取り入れ、未来に希望が持てる、積極的な施策を期待するため、下記について強く要望する。

記

❶希望を持てる事業施策を

町内にある資産（ひと、もの、しごと）を活かし、国県支援制度等、実施中の事業評価も再考し、将来につながる町独自施策と効果的事業執行に努められたい。

❷滞納始まり注意

町税並びに各種使用料の滞納削減にあたっては、滞納始まりの少額時での徴収に努め、将来滞納額が膨らむことのないよう努められたい。

❸福祉・保育・学校の未来を

独居老人等の増加。町内福祉施設サービス等の減少状態。町内福祉関係機関の連携、統合等の取り組み、および、少子化による町内保育、教育関係機関の将来ビジョンについて町内意見を早期集約し、将来計画を示されたい。

令和6年9月20日

阿南町長　勝野一成　様

阿南町議会議長

伊藤　公市

要望書提出　議長、予算決算正副委員長

９月定例議会　町長あいさつから

●**本町への台風被害は少なかったが、**空振りでも大げさでも、町民の命を守るためには早めの判断と指示を発したい。

●**物価高騰対策として「生活応援商品券」ひとり２万円分の給付**をしたい。

●**ふるさと納税事業では、**全国的な米不足による申込みが増加している。

●**人口減少問題に対する医療体制の維持について**は、南部５ヶ町村と県の協力を求めながら進めてまいりたい。

南部地区議員会定期総会

８月６日　下條村　コスモホールに於いて開催。各議会から道路関係を中心に12項目の提言（当町３名提言）、国県関係機関へ早期実現要望を決議した。

平塚伊久夫 議員
主要地方道阿南根羽線の
改良促進について
一般県道深沢阿南線の道路防災対策
事業の整備促進について

村澤博光 議員
森林造成（整備）事業の
促進について

小澤亮子 議員
長野県立阿南高等学校の存続について

令和６年度　町村提出議題・報告者

番号	提出議題　標題	報告者氏名（町村名）
1	一般国道418号の改良整備促進について	板倉　幸正（天龍村）
2	主要地方道　飯田富山佐久間線の改良整備促進について	大平　正長（天龍村）
3	主要地方道　天龍公園阿智線の改良促進について	長原　佳二（泰阜村）
4	主要地方道　下条米川飯田線の改良促進について	坂本　和男（泰阜村）
5	主要地方道　阿南根羽線の改良促進について	平塚伊久夫（阿南町）
6	一般県道　深沢阿南線の道路防災対策事業の整備促進について	
7	一般県道　大平山松葉線の拡幅改良整備促進について	日高　昇（売木村）
8	森林造成（整備）事業の促進について	村澤　博光（阿南町）
9	地域公共交通対策の推進について	熊谷美和子（下條村）
10	長野県立阿南高等学校の存続について	小澤　亮子（阿南町）
11	南部地域とリニア中央新幹線長野県駅間のアクセス道路整備促進について	熊谷　利治（下條村）
12	長野県立阿南病院の医師確保について	小林　久修（売木村）

行政視察

「なんぐうマート」
「新野地区コンビニ」
当町「買い物弱者対策」の取り組みの視察がありました。

岐阜県海津市議会
長野県北相木村議会

北相木村　来町

海津市　来町

阿南町議会で勉強会を行いました

役場２Ｆ 第２会議室

「地域おこし協力隊募集組合(仮称)」について（7／11太田・小澤亮担当）

（参加10名）

当町の地域おこし協力隊現在０人。農林業を中心に高齢化、後継者不在により、衰退が予想される多くの事業の担い手を育てるため、技術指導の受け入れを希望する方をまとめ、業種をまたいで募集できる体制として、当議会で募集組合を作るための第１回目の勉強会を実施。

○地域おこし協力隊受け入れ技術指導希望者　調査票を各自持参し役割分担を確認した。

農林業の後継者を育てるために

■議会（事務局）が行うこと

地域の人と協力隊をつなぐ役割を担う！

①現状把握（農林業を中心に、隊員へ技術指導を行ってくれる人を募り、受け入れ名簿作成）→ニーズに合わせて募集要項を作成

②事務局担当を置く

③組合規約の作成

④体験お試しイベント企画

⑤調査説明等

◎よりよい人材を獲得するためのノウハウを、研究していく。

続「地域おこし協力隊サポートセンター（仮称）」について（8／6太田・小澤亮担当）

（全員参加）

前回決定事項を中心に細部を確認し、今後の具体的予定を立てた。

【今後の予定】

９月定例議会終了後→町長へ企画書を提出。決裁がおりたら随時、募集要項完成→町HPにリンクを貼っていただく（12月末までに完成し、HPによる募集が出来るように）

来春３月までにある程度、募集が来る予定で動きたい。

議会の動き

６月

25日　６月定例会　再開
　　議会全員協議会（指定管理）
28日　阿南町農業振興地域整備促進協議会
　　（正副議長、正副総務委員長）

７月

1日　国道151改良促進期成同盟会総会（議長）
4日　岐阜県海津市議会行政視察来町（正副議長　正副総務委員長）
8日　国道418整備促進期成同盟会総会
　　（正副議長　正副総務委員長）
　　南信州東部軸道路整備促進期成同盟会総会（議長）
11日　議会勉強会　地域おこし協力隊募集組合について
　　長野県南部国道連絡会総会（議長）
12日　長野県町村議会議長会議員研修会
24日・25日　下伊那郡町村議会議長会愛知県視察研修（議長）

８月

6日　議会勉強会　地域おこし協力隊サポートセンターについて
　　南部地区議員会総会
19日　タブレット講習会
29日　議会全員協議会
　　議会運営委員会

９月

4日　タブレット講習会
6日　９月定例会　開会
12日　社会文教常任委員会
　　総務産建常任委員会
13日　予算決算常任委員会
17日　北相木村行政視察来町（正副議長　正副総務委員長）
　　９月定例会　再開
20日　議会全員協議会

南部地区議員会総会

一般質問

一般質問は初日に８人が行いました。

一般質問詳細は
「令和６年９月定例会Youtubeチャンネル」
からご覧ください

問 保育園手ぶら通園と卒業祝金等 新たに若者、子育て支援の充実を

研究するが、すぐには考えていない

小泉　健一

●**小泉**　令和５年度出生数６人と一桁。保育、教育関係の将来計画等について伺う。

■**教委事務局長**　国県、一定規模確保指導あり。保護者等意見尊重し研究。

●**小泉**　保育園手ぶら通園（昼寝布団とオムツを町で用意）、保育士にタブレット支給し業務日誌、日々の活動を写真データと併せ保護者へ連絡事項をデジタル化に。また、卒園、小学卒業時に中学卒業同様の祝金制度等、子育て世代支援充実について考え伺う。

■**教委事務局長**　郡内保育園デジタル化進んでいるので研究予定。その他は考えていない。

●**小泉**　当初予算編成時昨年末、作年度出生数６人は把握できたはず。子育て・教育関係の今年度予算、新事業「０」。考え伺う。

■**副町長**　人口減等阿南町、南部５町村、生き残っていくため大変な状況。計画について、意見等参考とし、我々も反省。議会も協力、支援をされたい。

●**小泉**　議会総意も考えていきたい。町も、現状維持と言わず、将来の収穫を得るために、通常業務の中で種時きし、町民が未来に希望を持てるような新規政策等スピード感をもってやって欲しい。

子ども支援充実を

問 建設業における作業員不足の現状

必要に応じて町発注工事の週休２日制も考えていく

小澤　公隆

●**小澤**　近年、全国的な作業員不足が問題となっている。建設作業員の年齢層は50歳以上が3割を超えていて、10年後には現在の作業員の3割が退職すると予想されている。反面建設業の需要は増化しており災害の多発等により全国的には仕事があふれている状態にも関わらず、作業員不足が原因で手つかずの箇所が増加している現状。長野県は昨年、建設作業員の働き方改革を促して人材が集まりやすい環境を整える目的で建設業者に週休2日制を基本とするよう指定した。県は市町村にも進めるよう促したが現在、町発注工事においての対応は。

■**建設環境課長**　労働基準法改正により適正な工期設定が発注者側の責任として明確に位置づけられ、休日確保の必要性も踏まえ県も実施していくこととなり町も国県補助事業について週休2日制で発注している。現在の中では該当する工事はないが必要なものが出てくれば週休2日制での工事発注を考えていく。

●**小澤**　作業員不足は災害多発時の初期対応に影響も出る。区長要望の修繕箇所に遅れは出ていないか。

■**建設環境課長**　今年は今のところ災害がなかったので遅れを取り戻せてきた。

●**小澤**　建設業の重要性を考える教育を推進すべき。機械化が進みドローンも使う時代、女性オペレーターも増えている。コミュニティの森整備計画を小中学生の学習に活用しては。

■**教育長**　キャリア教育や総合学習の中での機会を学校、業者とともに検討したい。町のインフラ整備に欠かせない重要な仕事に興味を持ってもらえるよう、産官学協力して取り組む必要があると考える。

建設業への支援を

問 民族芸能等町の宝を知り、観光スポットの連携と早い情報周知を

まずは地元利用者の増加のためアンケート等積極的に取り組む

小澤　亮子

●**小澤**　今年は平石ひまわり畑に約1000人が来場頂いたが、外からの問合せも多く、町のホームページやX等で早い情報発信が必要だが、更新が遅くわかりにくい。担当はどう対応しているか。

■**振興課長**　商業観光課は先日ホームページに「観光情報」欄を作り、写真や情報をアップするとトップページの新着情報に観光情報と表示されるように改修したのでご確認下さい。

●**小澤**　SNSの時代、魅力発信は専門職を検討し、町内にも情報発信を。多くの方が念仏踊りや盆踊り、早稲田人形やお祭り等、文化財である町の宝を実際に見たり参加したことがない。まず町内児童対象の体験型スタディツアー伝統芸能祭りを検討してみては。観光スポットのネットワーク化のため、かじかの湯と道の駅の協議を検討中とのこと。いずれは南部5町村の魅力を持ち寄りマップで結び連携し相乗効果を期待したい。化石展示館の利用方法についても同様で、まずは町内施設での連携を図り、イベント等の周知と、利用方法についてはアンケートをとるなど、常に町民のみなさんの声を集めることをして頂きたい。

■**教育委員会事務局長**　町内の方主催のイベントを9月29日㈰に、10月にも予定している。町としても協力しながら、アンケートも含め積極的に施設利用を進めたい。

●**小澤**　人の流れが出来るよう、各町村の写真コンテスト作品や、町内作家の作品展示等の検討、人件費も含め、平日の昼間、週末の利用の仕方を今一度見直していくべき。

観光もネットワーク化を

村澤　博光

問 喫緊の課題「空き家対策」

不動産と負動産、対策は厳しい

●**村澤**　２０１８年、全国の空き家８４９万戸、７戸に１戸は空き家、和合全戸数１９１戸のうち95戸が空き家2分の1になる。

■**総務課長**　令和５年に「空き家等実態把握調査」実施、調査されたのが６４６戸、空き家と判断された物件が４１１戸。

●**村澤**　放置空き家の問題も、屋根が落ちる、ハクビシンの住処に、防犯上心配、倒壊の危険もある、景観、周辺の環境の悪化も「不動産」でなく「負動産」が増えている。

提案として、空き家対策を有効に進めていくために、「空き家をあなたはどうしますか」と問いかける。活かせる空き家、倒壊の危機がある空き家、分類把握をきちんとする。

空き家等対策特別措置法でも、空き家の利活用、管理者、管理不全空き家の除去など課題があり、和合の95戸の空き家は危険な取り壊し必要物件が25戸ある。

空き家対策税制も改正、固定資産税の、住宅用地特例も「特定空き家」認定でその特例が外されると負担が6倍に、安全、衛生、社会、美観、防犯等で放置して良いとは思わない。

リフォームやリノベーションして住める物件も、売却、賃貸借の対象も町でお試しハウスとして整備、移住定住に結び付けるなど行動を起こすべき。

■**総務課長**　空き家所有者アンケートで４１１戸のうち65％の２６７人の方から「改修ができた」ので「売りたい」とか、または「貸したい」方が67件、「どうしたらよいか分からない」「解体したいが費用が捻出できない」対応に困っている方が１１８件と結構多い。

昭和55年以前の建物が70％、地震対策で相当な改修費用が課題。

空き家対策を

その他の質問

◆高温環境下での衛生環境の維持、点検を

（熱中症対策・食中毒予防・施設内昆虫侵入、駆除）

平塚伊久夫

問 歴史を学ぶ・開拓地（西富士開拓民分村移民地）との交流

課外授業の時間確保が難しい

●**平塚**　戦後79年。大下条村・富草村・和合村・旦開村から現在阿南町の歴史を子供たちに伝え、現地体験学習（小・中学校）や子供達の交流の場を。

■**教育長**　小中学校では、各学校における独自の取組を現在行っており課外授業は時間的にも確保が難しい。体験型学習については、西富士開拓の特集を公民館報で連載した経過があり、公民館、社会教育で町内の方を対象に研究していきたい。

●**平塚**　選挙年齢が18歳に引き下げられて以降、10代の投票率が低迷している現状をどう考えるか。

■**総務課長**　選挙権年齢は、公職選挙法の一部改正により、18歳以上となった。当町の10代の方の投票率は、直近の昨年4月の町議会議員一般選挙では、有権者は11名のところ、36・36％。10代、20代の投票率は低く、30代から全体の投票率を超え、以降、年代が上がるごとに投票率も上がり、60代が最も高い状況。

●**平塚**　主権者教育に力を注ぐことは大変良いが、実際、投票になると低いのはなぜか？実際に授業を行うときに、議員の参加等、検討いただきたい。

●**平塚**　コミュニティの森の美術館計画は。

■**教育長**　美術館の関係に加え、民俗資料や古文書の保管場所の必要性についての要望もある。これ全てをコンパクトに集約した施設、管理できる人員も必要。他市町村を参考にしながら、維持管理等について十分研究し、無理のない計画をしたい。

西富士開拓牧場

金田　豊

問 保育園の育休退園の見直し

来年４月から受け入れへ

●**金田**　育休退園という制度は、未満児を保育園に預け、働きに出ている保護者が、次の子どもを妊娠、出産する、そして育児休暇を取得すると、上の子どもが未満児の場合、保育園を退園しなければならないという制度。

　この制度は、待機児童を減らす対策ということであるが、阿南町においてはそれほど保育園の入園希望が多いわけでもないが、この制度があるということなので、考え直していただきたい。保育の提供は、市町村の義務と定められており、その運用は、実施主体である市町村に委ねられている。そして、保育所を利用するには、子ども・子育て支援法に基づき、保育を必要とする理由が必要であり、その理由は国が定めるのではなく、市町村が定めるとされている。であれば、阿南町独自の考え方ができるということだと思う。

　ぜひ、阿南町でもこの制度を廃止することを決断していただきたい。

■**教育委員会事務局長**　現在の保育体制は正規職員30名、会計年度任用職員12名の合計42名で保育業務をしている。現在育休退園の対象は2名おりますが、来年の４月から受入れを開始していければと、今検討している。

●**金田**　保護者が持たせ、使用したオムツを今は自宅へ持って帰っているが。保育園で燃えるごみの日にまとめて出す対応をしていただけると、子育て支援にもなるのではないか。

■**教育委員会事務局長**　昨年1月に厚生労働省が使用済みおむつを保育園にて回収処理することを推奨するという声明を発表している。これを受けて、処分方法も含めて研究している。

■**教育長**　すぐやれと言われても、財政的な問題も現実にはある。まずできるところからやっていく方向で、４月に受け入れということと、おむつの件については、これも前向きに、実施に進めていきたい。

育休退園の見直しを

太田　直昭

問 防災対策についてコミュニティの森への整備を

補助の関係もあり、計画変更できない

●**太田**　南海トラフ関連ではないというが、九州東部に続いて発生した神奈川県西部地方の地震は、国民全体に関連づけられるほどの予兆ではなかったかと感じている。

　また、迷走台風もあって、今後地震にも、風雨による災害にも対応が必要となってくると思われる。

　町として現在の対策が町民に知れ渡っているのか。町としてどの様に把握しているのか。

■**総務課長**　災害発生直後の公助は困難と考えている。したがって、自助や地域での共助が、自分や家族そして近所の方の命を守ることになると考えている。

　災害対策の第一は、ハザードマップや災害時避難カードにより、意識の向上に向けた取り組みを行うこととしている。

　しかし、町民の方々の避難状況からみても、防災意識が十分とは言えないと感じている。

●**太田**　文字や絵で伝えようとしてもピンとこない方も多く、なんとなく過ごしているのではないかと思われるため、どう進めていくのか。

■**総務課長**　今回は避難カードを配布し、地区ごとに意識の向上を図りながら、進めてまいるところでしたが、残念ながら中止や延期となった。引き続き住民の皆さんで作成する活動は進めていく。

●**太田**　実際に見る、感じる防災用品などをコミュニティの森整備計画に入れてはどうか。

■**総務課長**　補助金をいただいている関係上、計画変更は認められず、今の段階では防災フェスなどを通じ、体験するなどの機会を増やしていく。

●**太田**　地震の体験車や、簡易テント、さらにはダンボールベッドやスクリーンに投影させ、目で見て危険を感じられる装置など、南部町村での共有も考えていただきたい。

防災グッズ

問 小規模町村の将来にむけた取り組み合併は

合併は現在のところ考えていない

藤澤　隆壽

●**藤澤**　小規模自治体、また広域・飯田・下伊那郡の人口減少等消滅危機が想定されている。平成合併時を顧みて南部五町村の合併による活性化を推進しては。町村長の中でも勝野町長がリーダーシップとなっており推進役として期待する。

■**副町長**　合併について平成14年～16年にわたって合併対策官・自立推進対策官という役職を仰せつかり、こなしてきた。

小林謙三町長が「苦しくとも自立の道を選ぶ」と言って、現在に至っている状況を見て、合併しなくてよかったと考える。副町村会の役員会で14市町村長が集まり、県知事も参加する中で拡大版地域戦略会議南信州版の会議があり、合併はまだどこも考えていないという状況。県の考え方としても、合併はまだ、望めばそれでいいが広域連携ということを考えている状況だと認識した。

合併については一自治体だけの問題ではなく、平成14年、16年の合併を検討した経過をみても大変難しい問題であった。町長は南部町村のリーダーであるが、今後、阿南町が存続していくため、住民の皆さんをどうするのか、阿南病院が診療所化しないために、阿南高校、阿南警察署を存続させていくにはどうするか、数年前から取り組んでいるところである。

●**藤澤**　南信濃村・上村は飯田市との合併により自治体役所は無くなったが支所としての機能は十分果たしている。この例を見て、一つの事業「かぐらの湯」は源泉が無くなり旧村では開業は困難と思われた。新しく掘削し開業できる状況になったのは合併による効果である。南部5町村のエリア内に県直轄の阿南病院・阿南高校・阿南警察の存続も危ぶむ状況下。組織規模を大きく活性化に希望をもてる施策に期待する。

その他の質問

◆地球温暖化により猛暑が続く状況下、熱中症対策について（町内各小中学校）生徒の健康管理にエアコン設置を

一、一部の教室に設置してあるが各教室に設置を

一、体育館への設置を

各種団体との懇談会を計画中

10月以降、総務・社会の委員会において、各種関係団体等との懇談会を、今年度内に計画しています。

現場のご意見をお寄せください。

議員定数並びに報酬について町長に審議会を要請

■**議員定数は2減とし、定数10名とする（次回一般選挙より）**

■**報酬は2003年（減額前）まで戻っていないため増額を**

などについて審議会を開催される様要請した。

編集後記

災害の多い、大変な年になっています。

町も、議会も共に知恵をしぼり、人命を守ること、被害を少しでも少なくすることなど、努めていかなければと思います。

自助・共助・公助

できる事を少しずつ!!

更に詳しい情報は阿南町議会 HP へ

議会ホームページでは本議会詳細や、議会だよりをご覧いただけます。

阿南町議会　検索

http://www.town.anan.nagano.jp/category/living-adm/town-information/anan-gikai/